

世界が進むチカラになる。



第10次中期経営計画 ～2025-2027年度～

MUFGファイナンス&リーシング

1. 第9次中期経営計画レビュー ～2022-2024年度～

1-1. 第9次中期経営計画レビュー ～経営目標達成状況

- 財務目標は全て達成
- 営業資産積上げによるトップラインの伸長や経費抑制・与信費用戻り益が寄与し、税引前利益は60億円超を達成

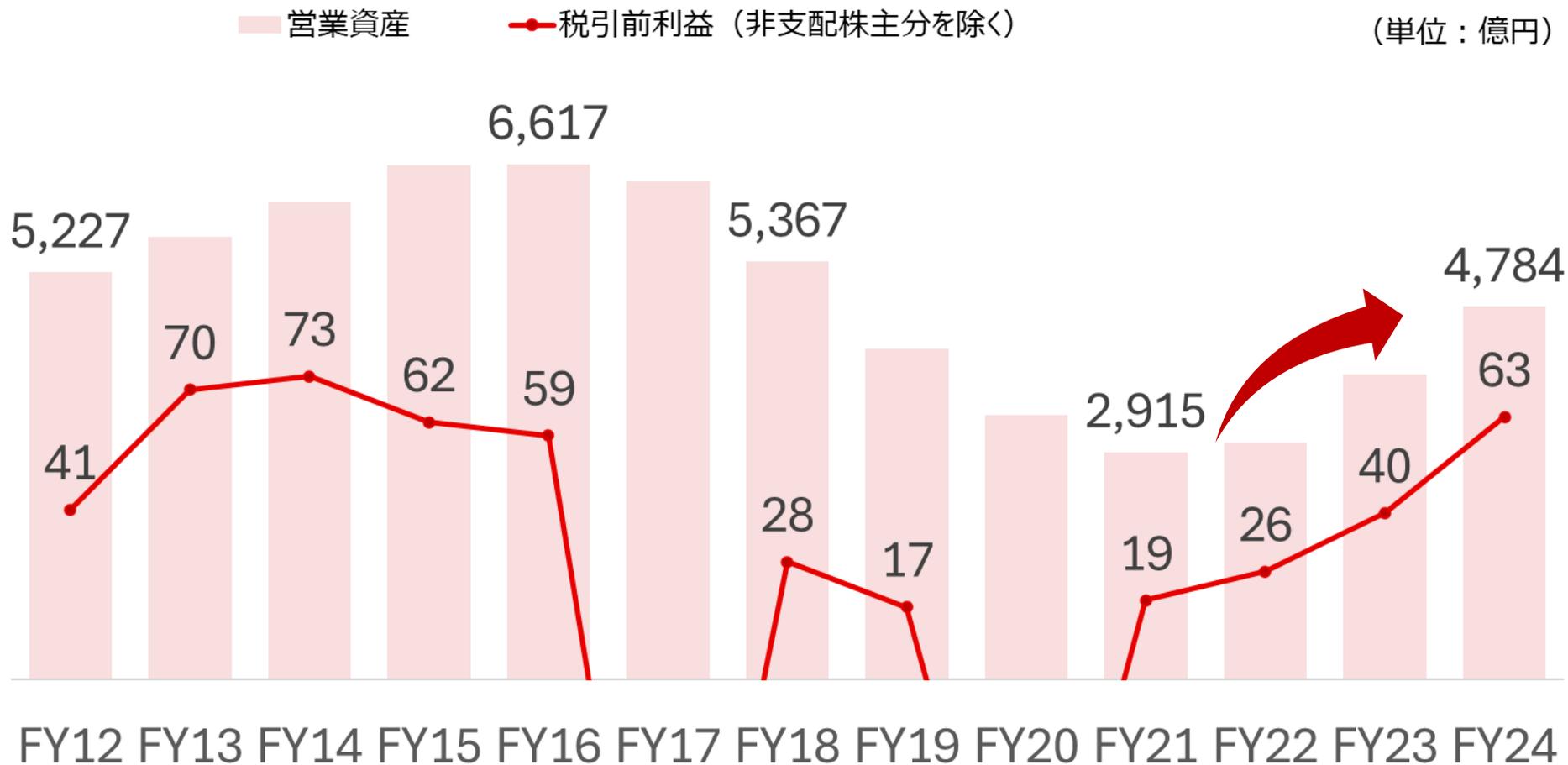
		a	b	c	d
		第9次中期 経営計画目標 (2024年度)	2022年度	2023年度	2024年度
1	税引前利益 ^(*1)	50億円	26億円	40億円	63億円
2	営業資産 純資産倍率	8倍以下	6.4倍	5.8倍	6.5倍
3	税引前利益ROE ^(*2)	8.0% 以上	5.4%	6.0%	9.3%

(*1) 非支配株主に帰属する当期純利益を除く税引前利益

(*2) 非支配株主に帰属する当期純利益を除く税引前利益/自己資本の平残

1-2. 第9次中期経営計画レビュー ～営業資産及び税引前利益推移

- 営業資産は2022反転。不動産を中心にMUFG協働が大きく進展し、営業資産は4,700億円台まで回復



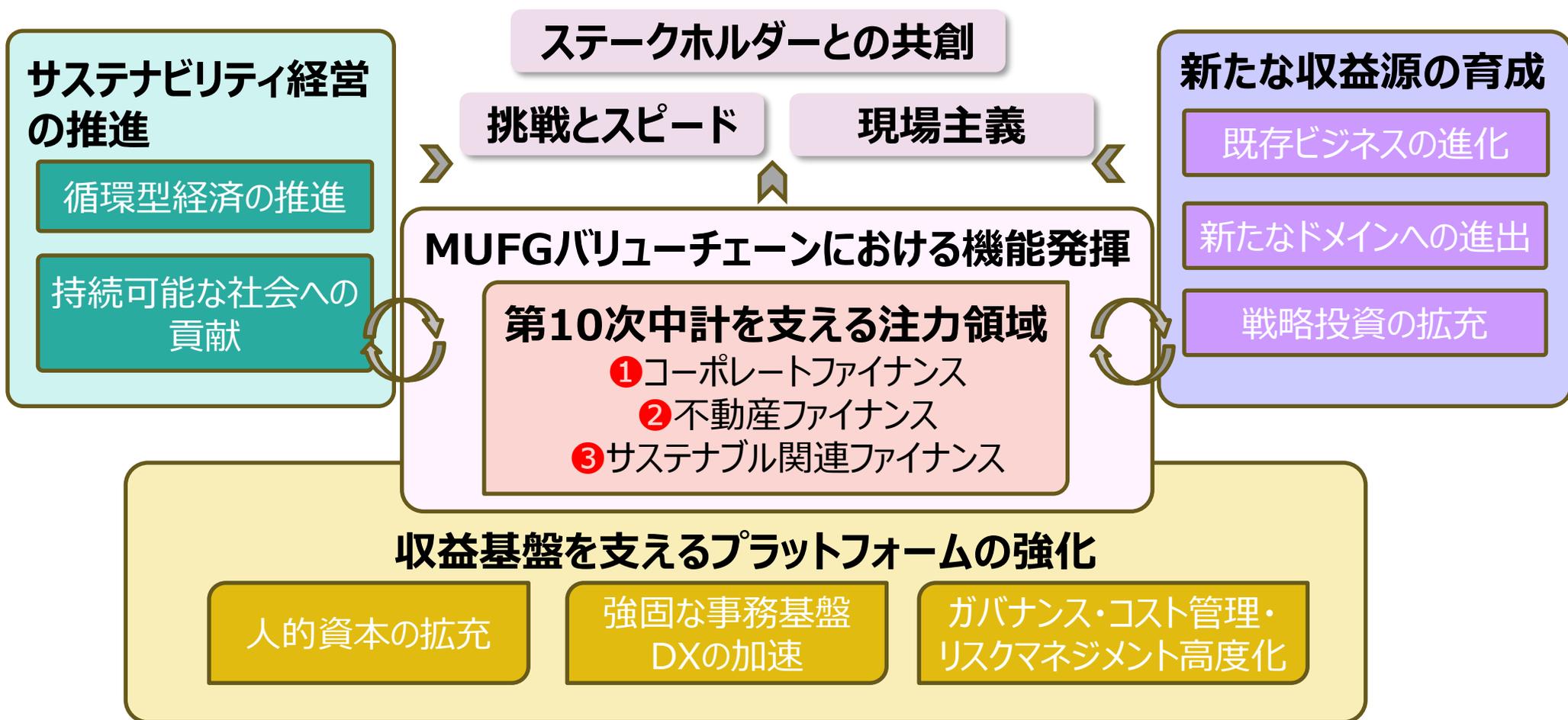
1-3. 第9次中期経営計画レビュー ③各事業領域等の実績

コーポレート ファイナンス 営業部門	<ul style="list-style-type: none">■ MUBK支店との連携強化で顧客基盤を拡充、営業資産も増加に反転■ 脱炭素ビジネス推進室を新設、ソリューションメニューの拡充・補助金活用等による脱炭素案件取組みを推進■ 脱炭素関連のスタートアップ企業への出資拡充や事業パートナーとの業務提携加速
プロダクツ 営業部門	<ul style="list-style-type: none">■ 不動産：MUFUG協働が大きく進展、3年間で1,000億円超の営業資産積上げ■ 航空機：1機売りビジネスの態勢構築遅延。機体調達完了も売却に向けて鋭意活動中■ 再エネ：マーケットの加熱やFIT案件の枯渇により競合が激化、営業資産積上げに苦戦
国際部門	<ul style="list-style-type: none">■ ASEAN中心に建機等の販売金融や業務推進エリア拡大に注力、新規成約額はコロナ禍前の水準まで回復■ メキシコ戦略の再構築、ミャンマー駐在員事務所撤退等、選択と集中を加速■ ITリスク管理を中心としたグローバルガバナンス強化に着手
コーポレート センター	<ul style="list-style-type: none">■ MUBK・東京センチュリー・農林中央金庫と資本業務提携契約を締結し、約300億円の増資を完了■ 格付会社による外部格付の格上げ（JCR：A⁺、R&I：A）■ 「実力に応じた処遇」や「自己実現できる機会の提供」を軸とした新人事制度の運用開始■ リスク計測方法の高度化、各種事務プロセスの簡素化、及び権限移譲を進め、生産性向上■ 2025年10月1日の社名変更（新社名：MUFUGファイナンス&リーシング）を発表

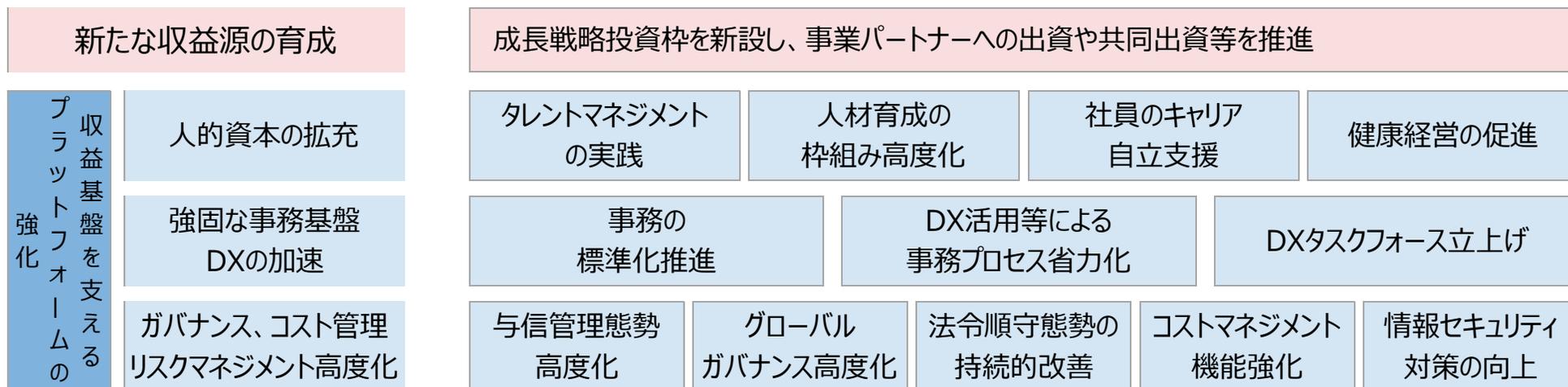
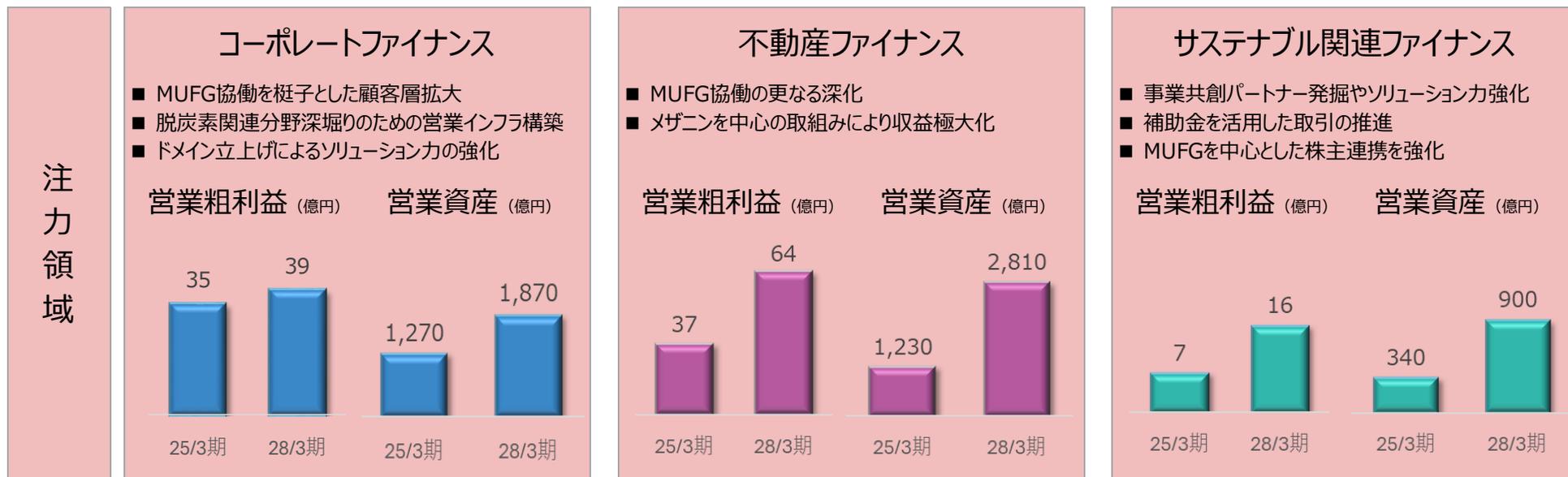
2. 第10次中期経営計画 ～2025-2027年度～

2-1. 第10次中期経営計画 ～戦略マップ

第10次中計コンセプト：MUFG協働の深化と将来の飛躍に向けた変革の3年間

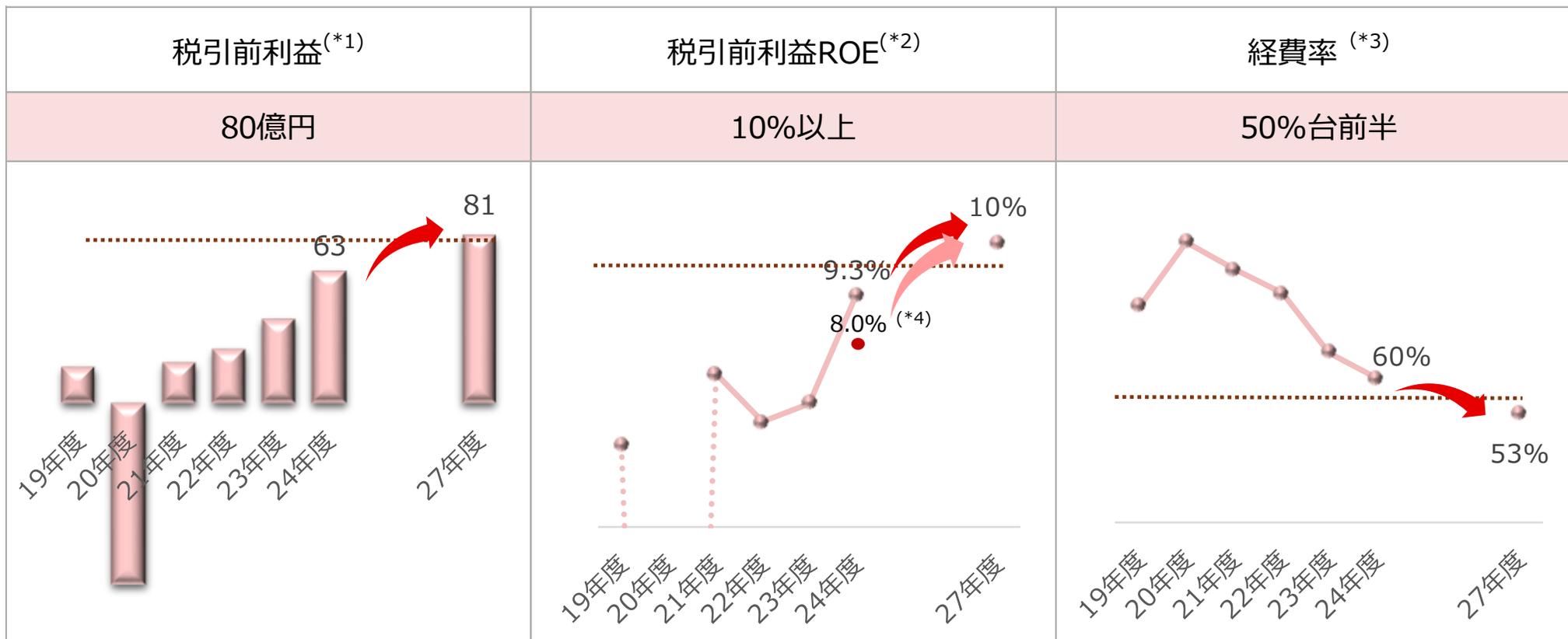


2-2. 第10次中期経営計画 ～施策



2-3. 第10次中期経営計画 ～財務目標

(27年度は第10次中計レート)



^(*1)非支配株主に帰属する当期純利益を除く税引前利益、^(*2)非支配株主に帰属する当期純利益を除く税引前利益 ÷ 自己資本の平残

^(*3) (販管費-与信費用) ÷ 非支配株主に帰属する当期純利益を除く売上総利益、^(*4)24年度与信費用を27年度計画と同水準とした場合の税引前利益ROE

2-4. 第10次中期経営計画 ～非財務目標

社会環境課題	GHG排出量 (Scope1,2)	2030年度ネットゼロ
	サステナブル関連ファイナンス3年間累計	950億円
	返却物件のリユース・リサイクル率	95%以上
人的資本	人的資本投資額 (24年度研修費 : 31.7百万円)	24年度比50%増
	月平均残業時間 (24年度 : 16.6時間)	24年度比10%減
	女性管理職比率 (24年度 : 10.8%)	15%以上
	有給休暇取得率 (24年度 : 74.7%)	75%以上
	育休・産休利用率 (24年度 : 80.0%)	100%